

みんなの

社協だより
vol.80

ちいきふくし

CHI-KI FUKUSHI SOJA CITY COUNCIL OF SOCIAL WELFARE

3
2026

CONTENTS

障がい支援	2
地域ニュース from 地区社協 / 松寿会 / 介護者の会	4
ボランティアセンター / 災害ボランティアフェスティバル	6
生活支援体制整備事業 / ひきこもり支援	7
権利擁護 / 弁護士コラム	8
フードドライブ / 計画相談	9
社協会員	10
まごころのページ	11



令和7年度障がい福祉フォーラム

ハートフルそうじゃ

障がい福祉フォーラム

「ハートフルそうじゃ

～築こう絆♡楽しもう ハートフルそうじゃ～」開催!

たくさんのご来場ありがとうございました!



この事業は、**赤い羽根共同募金**から支援を受けて開催しました。
心あたたまるご寄付をありがとうございました。

地域で共に生きる社会を考える

～障がいの有無に関わらず誰もが笑顔でやさしい
まちをめざして～



築こう絆♡楽しもう ハートフルそうじゃ

障害者週間（12月3日～12月9日）に合わせて、令和7年12月6日（土）山手公民館にて障がい福祉フォーラム「ハートフルそうじゃ～築こう絆♡楽しもうハートフルそうじゃ～」を開催しました。当日は、約580の方が来場されました。

今回のメインステージは、映画「新居浜ひかり物語 青いライオン」の上映でした。自閉症と診断された画家・石村嘉成さんが、家族や周囲の支援のもと才能を開花させた実話を描いた作品で、「よかった」「感動した」という声が多数聞かれました。

療育や手話・点訳・要約筆記、ユニバーサルスポーツなどの体験コーナーや、「そうじゃてのひらマルシェ」では、親子で参加する姿が多く見られ、障がいへの理解を楽しみながら深めていただくことができました。



毎年4月2日は世界自閉症啓発デー！（4月2日～4月8日：発達障害啓発週間）

総社市では、発達障害啓発週間に合わせて、岡山県自閉症協会共催のもと、国分寺がシンボルカラーのブルーにライトアップされます！！

発達障がいは見た目では分かりにくく、「わざとやっている」など誤解されることも多い特性があります。

4月2日の世界自閉症啓発デーでは、自閉症をはじめとする発達障がいについて、広く啓発する活動が全国各地で行われています。

総社市地域自立支援協議会では、この週間に合わせて、障がいのあの方が製作されたアート作品を展示します。

この機会にぜひ、障がいのある方のアートに触れ、発達障がいへの理解を深めてみませんか。

日程：令和8年4月2日（木）から 令和8年4月8日（水）まで

場所：総社市役所 1階 チュッピーホール前ロビー

【お問い合わせ】

障がい者基幹相談支援センター TEL：(0866) 92-8578

インタビュー

「安心して働ける場所で、着実に歩み続ける」

— 株式会社 紀文食品で働く ^{きた かずし}北 和史さんと松本課長に聞く —



手洗い場を清掃する北 和史さん

障がい者千五百人雇用センター（以下、センター）のサポートを受けながら、（株）紀文食品 岡山総社工場（以下、紀文食品）で働き始めて3年目を迎えた北和史さん（40代、身体障がい）。工場内の清掃作業を担当しています。今回は、北さんと紀文食品の労務管理課 松本課長に、これまでの歩みや今後の目標についてお話を伺いました。

働き始める前の不安

北さん「将来ずっと働き続けられるかどうか心配でした。紀文食品を最後の職場にしたいという気持ちで応募しました。」

松本課長「欠勤が続くことがあると事前に聞いていたので、会社に来られるかどうか心配でした。障がいのある方は人それぞれできることが違うので、まずは様子を見ながら働いてもらおうと思っていました。」

現在の働きぶり

北さん「汚れが落ちるように一生懸命作業しています。『安全・安心』を常に意識しています。」

松本課長「1年目は休みが続くこともありましたが、今ではほとんど休まず働いています。気付いたことを報告してくれるので安心して任せられます。スピードも申し分なく、雑さもない。センターが関わってくれているのもありがたいです。」

今後の目標と期待

北さん「これからも安全に気を付けて仕事を続けたいです。幸せな家庭を築くのが目標です。」

松本課長「体調に気を付けて、できることを着実に積み重ねていってほしいと思います。」

働き始めた当初の不安を乗り越え、生き生きと働いている北さん。センターと会社が連携しながら、安心して働ける環境を築いていることが伝わってきました。これからも北さんの挑戦を応援していきたいと思っています。

【お問い合わせ】

障がい者千五百人雇用センター
TEL：(0866) 92-8379

／ そうじゃてのひらマルシェフェア開催中 ／



宮脇書店総社店ヒロシゲマエで「そうじゃてのひらマルシェフェア」が令和8年2月3日（火）から3月15日（日）まで開催されています。

店頭には、障がいのある方が作られたクッキーやパン、雑貨などが並びます。どの商品も、自信を持ってお届けしています。皆さま是非お越しください！

【お問い合わせ】

地域自立支援協議会 就労支援事業所連絡会
事務局 TEL：(0866) 92-8379



久代地区社協



にこにこ弁当で見守り活動

ひとり暮らしの高齢の方への見守り活動として「にこにこ弁当」のお届けをしています。一時は資金不足で存続の危機もありましたが、にこにこ弁当を絶やしたくないという強い思いから、久代地区福祉委員会・久代地区婦人協議会・赤い羽根共同募金の助成金をいただき、継続することができました。

にこにこ弁当は総社西小学校の児童が書いてくれた手紙も一緒にお届けしています。今年は、子ども福祉委員の小学生たちも一緒にお弁当配りに同行してくれました。日頃、あまりおしゃべりされない高齢の方も子どもたちと笑顔でお話してくださいました。子どもたちの手紙も大切に保管してくださっているというお話はよくお聞きします。かわいい子どもたちの力も借りながら見守り活動を続けています。



(執筆者 M. K)

山手地区社協



やまてなかよしウォーキング

山手地区では、社協行事として子ども対象の最も大きな行事である「なかよしウォーキング」を秋も深まった11月23日（祝）に開催しました。

毎年山手地区の各方面、名所、旧跡を歩いていますが、今回は、国分寺方面を巡りました。

参加者として、親子50人、大学生ボランティア2人、スタッフ合わせて約100人が4グループに分かれ、リーダーを先頭に地域のおじちゃん、おばちゃん、大学生のお兄さん、お姉さんと楽しく話をしながら国分寺を散策しました。一般観光客と挨拶を交わす場面もあり、行事内外の交流も図ることができました。

帰着後の東風館では、大学生に教わりながらペットボトル空気砲を作り、的当てをして交流を深めました。

また、栄養委員の方々が作った美味しいカレーを秋晴れの空の下で共食し、異世代交流の有意義な一日を過ごすことができました。今後も、地域住民の絆づくりに貢献できる行事を目指して取り組んでいきたいです。

(執筆者 K. K)

秦地区社協



みんなが集まる“全世代交流ふれあい市”

秦地区では毎年「じいちゃん・ばあちゃん・パパ・ママ・子どもたち地区民に楽しんで交流してもらいたい！」という想いで“全世代交流ふれあい市”を開催しています。

地区社協はもちろん、自治会連合会や消防団のみなさん、そして、会場となるJA岡山西秦ぶどう集荷場にもご協力を頂いております。屋外で平地の会場のため、車いす利用者にも気軽に遊びにきてもらえています。秦にこんなに子どもたちがいたのか、と思うほどたくさん子どもたちも遊びに来てくれました。大人たちも久しぶりに顔を合わせて“どうしょんな〜”と昔話で盛り上がります。

会場には食べ物・飲み物・手作り小物・バルーンアート・お花の苗等の出店があり、地元の方を始め、福祉作業所の方にも参加をしてもらい大いに盛り上げて貰いました。幸いお天気にも恵まれ、楽しい一日を過ごしてもらえたと思っております。

来年も開催できるようスタッフ一同頑張ります！

(執筆者 M. A)

～入会者大募集中！～

65歳以上のひとり暮らしの会

総社市松寿会



一人暮らしの方が相互に助け合い、親睦を深め、健康で明るく充実した人生を送ることを目的に活動しています。交流会（七夕会・クリスマス会・節分交流会）や移動研修会を行っています。65歳以上の一人暮らしの方、一緒に楽しい活動をしてみませんか？

【申込方法】

事務局備え付けの申し込み用紙に必要事項を記入し、年会費 1,000 円を添えてお申し込みください。

【お申込み・お問い合わせ】

地域共生推進課 地域福祉係 「総社市松寿会」「総社介護者の会」

TEL：(0866) 92-8552 FAX：(0866) 94-0089

現役の介護者や介護OB・OGの会

総社介護者の会



介護者間の交流を図り、介護者の孤立防止やリフレッシュを目的とした団体です。茶話会や料理教室、市外へのふれあい研修旅行などの活動を行っています。日々、寝たきりや身体に障がいがある方を介護している方、介護を終えられた方、一緒にリフレッシュしませんか？

ボランティアセンター登録グループを紹介します！！

赤とんぼ

75歳以上のおひとり暮らしの方に、手描きの絵や写真などを添えた、お誕生日をお祝いするハガキを贈り、これからも元気でお過ごしいただけるよう、活動を行っています。

ハガキを受け取りたい方、一緒に活動したい方、どちらも大歓迎ですので、ぜひお申込みください。



でんでん虫

65歳以上のおひとり暮らしや昼間に自宅でひとりぼっちになってしまう方に、月1～2回程度お電話をさせていただきます。また、年2回程度の茶話会も行っています。

「誰かと世間話をしたい」「話を聴いてほしい」という方は、ぜひお申込みください。



関心のある方はボランティアセンター（92-8552）までお問い合わせください！

※いただいた個人情報は、当該ボランティア活動のみに使用いたします。

平時から災害に備える！

災害ボランティアフェスティバル in 総社 開催決定！！

日時：令和8年3月14日（土）10時～14時30分
場所：岡山県立大学（総社市窪木111）



第1部 実践報告＋基調講演＋ワークショップ

10時～12時

- ・学校自主防災コンソーシアム Soja
- ・株式会社 EnPal 代表取締役 金藤 純子 氏
演題「災害に対する日頃からの備え（仮）」

第1部のみ
事前申し込みが必要です。
こちらからお申込みください。



申込 QR



第2部 出展ブース 12時～14時30分

※写真は前回開催された様子です。
※出展（店）団体の情報は、ホームページ、SNSで随時更新いたします。



社会福祉協議会



ボランティアセンター





定年前後の生きがいづくり講座

～やってみたくらいから始める地域活動～を開催しました！

定年後の過ごし方を有意義にするため、シルバー人材センター 常務理事 高田 一豊さんに生きがいのタネについて、事例を交えながら講義をしていただきました。後半は地域の支え合い活動を行っている団体の方々に話をさせていただきました。参加者からは、「生きがいは育むもの！心に響きました」「ボランティアにはあまり興味がなかったが、仲間作りや生きがいのヒントになった」「仕事をやめて地域とのつながりがないことに気づき、いいきっかけ作りができた」といった、声が聞かれました。ご来場ありがとうございました！

地域の支え合い活動を紹介します！

<生活支援ボランティアとんばら>

総社市富原地区の住民で、自力で乗降可能な方、事前に本団体に登録を完了している方が対象です。「買い物に行くのは大変」「みんなで買い物に行ってみよう」と思っている方の買い物移動支援ボランティアです。

【活動日時】 毎月第3水曜日 10時神在分館発～11時30分リブ21 発

【費用】 100円/回

興味がありましたら、おつなぎしますので下記の連絡先へご連絡ください。

【お問い合わせ】 地域共生推進課 地域福祉係
TEL：(0866) 92-8552 FAX：(0866) 94-0089
E-mail：chiiki@sojasyakyo.or.jp

みなさんのご利用を
お待ちしております！



ひきこもり家族会

「ほっとタッチの会」のご紹介

Q. ひきこもり家族会ってどんなところ？

- A. 同じ立場だからこそ安心して話ができ、他の方の関わりなどを聞くことで参考になります。
- A. お互いに気持ちを分かち合うことで、家族の気持ちがお楽になります。家族の気持ちがお楽になり関わり方が変わると本人も気持ちがお楽になります。



定例会：毎月第3木曜日 13時～
開催場所：居場所「ほっとタッチ
ぼえむ」

まずは見学いただくことも可能です。

総社市ひきこもり支援センター
ほっとタッチの会

ひきこもりサポーター 「ほっとも」の会について

■ひきこもりサポーターの活動内容

居場所活動の支援

- ・当事者家族との交流
- ・行事・イベントの企画
- ・畑作業

社会参加に向けた支援

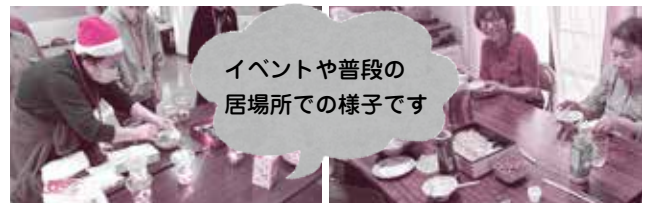
- ・当事者の趣味や関心に
応じた個別活動

ひきこもりの 理解・周知

- ・当事者や家族へ日頃の
あいさつ・声かけ
- ・地域への周知

必要な支援機関への つなぎ役

- ・当事者や家族のみまもり、
必要に応じて支援
機関につなぐ



毎年実施している「ひきこもりサポーター養成講座」を受講いただくことでサポーター活動に参加することができます。

【お問い合わせ】

ひきこもり支援センター TEL：(0866) 92-8597 E-mail：soudan@sojasyakyo.or.jp

知って・考える

SNS から始まる犯罪被害の現状と被害者支援

【令和7年11月28日（金）開催】



近年、SNSを通じた性被害や闇バイト、誹謗中傷など、悲惨な事件・事故は増加傾向にあり、誰もが被害者やその家族となり得る現状があります。今年度は、（公社）被害者サポートセンターおかやま（VSCO）の犯罪被害相談員の片山 文さんをお招きし、講演会を開催しました。犯罪被害に巻き込まれないための予防方法、巻き込まれた場合の対応方法、また、被害者にも加害者にも傍観者にもならないために、私たちができることは正しい理解

と相談することの大切さであるとお話いただきました。参加者からは、「被害者の立場に立って親身に接することが大切だと理解できた」「相談できる場所があることを知って心強いなと思った」などの感想も寄せられ、私たちができることを考える機会となりました。

（当日講演会場では、「いのちと魂のメッセージ展」のパネル展をしました）



権利擁護センター“しえん”では、犯罪被害にあわれた方への支援を関係機関と連携して行います



多くのご協力
 \ ありがとうございます /
 ホンデリング・プロジェクト
 ～本で広がる支援の輪～



犯罪被害者週間（11月25日～12月1日）に合せて、古本のご寄付を募りました。
 102冊 金額：3,644円



私たちの日常生活にも、意外と法律の問題は潜んでいます。

Q & A 形式で日常生活と法について、解説していきます。

Q 交際相手と別れることになりました。私の方が収入が多く、交際相手には事あるごとに高額なプレゼントを渡していました。別れることになったのは相手の浮気が原因なので、プレゼントを返してもらいたいです。

A プレゼントは、法律上は「贈与」となり、受領を受けた方には返す義務がありません。残念ながら、別れることになったからといって返してもらうことは難しいです。ただし、お互いが合意するのであれば、返却してはいけないというわけではありません。そのため、プレゼントを返してほしいと申し出てみてはいかがでしょうか。なお、別れる原因になった相手の浮気に関してですが、婚姻関係（あるいは法律上の婚姻関係に準ずるような関係）がない限り、この点について慰謝料請求をすることはできません。



弁護士コラム 連載第9回

「日常生活と法律③」
 ～別れるのなら、返してもらえる？～



権利擁護センター“しえん”
 かわだのぶか
 弁護士 河田 布香

>>>> ～「もったいない」を多くの「ありがとう」に～

いただきものなど余った食品を募る「フードドライブ」を令和7年10月11日（土）、令和8年1月31日（土）の2回、開催しました。この取り組みは、ふくしネットそうじゃ・おかやまコープ・総社市生活困窮支援センターの共催で実施しています。

集まった食料は、生活に困られている方や子ども食堂等の支援に活用されます。

第1回 1,099品 第2回 956品

＼たくさんのご協力をいただき、ありがとうございました！／



缶バッジ作りに子どもも参加し、ご家族でご協力いただきました。



“ふくしネットそうじゃ”は、高齢者施設や障がい者施設、保育園などの市内の社会福祉法人（19法人）からなる団体です。地域における公益的な取り組みを考え、実践しています。

ふくしネットそうじゃ
フードリンクプロジェクト

指定特定相談支援・指定障害児相談支援の紹介

わたしたち（相談支援専門員）は、障がいのある方の気持ちに寄り添いながら、日々の生活に必要な支援と一緒に考えます。そして、その方に合った福祉サービスを安心して利用できるよう、関係機関との橋渡し役としてサポートします。

○支援内容：

- ・ご本人の思いを大切にしながら、生活全体を見据えた支援計画と一緒に作成します。
- ・福祉サービスの利用手続きや調整をサポートし、必要な支援につながるようお手伝いします。
- ・ご家族や関係機関と協力し、安心して暮らせる環境づくりを継続的に支援します。

○ご利用いただける方：

総社市にお住まいの、障がい者、障がい児や発達に心配のある児童やご家族

※障がい者手帳の有無は問いません。障害福祉サービス利用についての相談をお受けいたします。



専門的な療育や支援を受けたい。
新しくサービスを利用したい。

【お問い合わせ】在宅福祉課 計画相談係
TEL：(0866) 92-8559

登録ヘルパーさんを募集しています。資格をお持ちの方は、ぜひお問い合わせください。

【お問い合わせ】在宅福祉課 訪問介護係 TEL：(0866) 92-8560



令和7年度社協会員募集にご協力ありがとうございました！

本会では、今年度も地区社協を通じて社協会員の募集を行いました。ご協力いただきました皆さまに心からお礼申し上げます。

ご協力いただきました会員会費は、地域福祉事業の貴重な財源として活用させていただいているほか、市内16の地区社協に配分し、各地区の地域福祉活動に活用させていただきます。

会員会費総額
14,028,000 円

【お問い合わせ】
総務企画課 TEL：(0866) 92-8555

地区名	特別会員	賛助会員	普通会員	合計
総社	15,000	74,000	1,839,200	1,928,200
総社中央	15,000	32,000	899,900	946,900
総社北	5,000	6,000	578,000	589,000
常盤	5,000	11,000	1,765,200	1,781,200
三須	10,000	8,000	766,500	784,500
服部	35,000	14,000	618,200	667,200
阿曾	0	6,000	694,000	700,000
池田	25,000	8,000	315,500	348,500
秦	10,000	38,000	526,000	574,000
神在	30,000	10,000	557,000	597,000
久代	0	6,000	597,000	603,000
山田	0	2,000	203,000	205,000
新本	10,000	14,000	367,000	391,000
昭和	10,000	8,000	888,500	906,500
山手	0	0	1,161,000	1,161,000
清音	0	26,000	1,585,000	1,611,000
事務局	65,000	132,000	37,000	234,000
合計	235,000	395,000	13,398,000	14,028,000

(令和8年1月20日現在)

特別会員ご協力企業・法人様

- ・土井建設(株)様
- ・医療法人さかえ外科内科クリニック様
- ・(株)三松様
- ・医療法人診療ドクター杉生様
- ・清水清掃(株)様
- ・三星金属(株)様
- ・社会福祉法人超寿会様
- ・医療法人薬師寺医院様
- ・協同組合テクノパーク総社様
- ・(有)前田料理店様
- ・(株)エイゼン社様
- ・総美総業(有)様
- ・(有)前田商会様
- ・(株)エンスイ工業様
- ・食絆かないど様
- ・賀陽運輸(株)様
- ・岡山指月(株)様
- ・(株)平田建設様
- ・(株)IKEMOTO様
- ・川上鉄工所(株)様
- ・高梁川漁協様
- ・ワタナベ工業(株)下原工場様
- ・信弘加工様
- ・飛鳥ホンダ(株)様



(順不同)

(令和8年1月20日現在)



赤い羽根共同募金運動・地域歳末たすけあい募金運動
～ご協力ありがとうございました～

赤い羽根共同募金は、令和7年10月1日から12月31日、地域歳末たすけあい募金は、令和7年12月1日から12月31日までの期間に開催されました。皆さまからのあたたかいご協力に感謝申し上げます。ご協力いただきました募金は、市内の地域福祉活動をはじめ、福祉施設の備品整備などに活用されています。今後とも、赤い羽根共同募金にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※ご了承をいただいた方についてのみ、紙面上に寄付金額等を掲載させていただいております。



種別	金額等	寄付者	住所
歳末たすけあい	79,728 円	総社市仏教会	
	50,000 円	角田 悦男	窪木
一般寄付	1,300 円	匿名(こども食堂へ)	
	86,822 円	任意団体くうねるあそぶ(こども食堂へ)	
篤志品	食料品	高野山真言宗寺族婦人会備中支部	倉敷市阿知
	米	国府 浩富(こども食堂へ)	総社

下記については、金額の多寡にかかわらずご希望により寄付金額は掲載しておりません

寄付者	住所	寄付者	住所	寄付者	住所
▽香典返し		田中 洋一	槇谷	松尾 俊彦	総社2丁目
橋本 信子	西阿曾	亡母(義江)	西郡	亡父(信彦)	門田
小野 雅史	中央2丁目	守安 正憲	西郡	秋山 孝裕	泉
山本よしこ	金井戸	守安 正憲	中央2丁目	藤井 繁治	西阿曾
平田 初	清音上中島	竹竝 優美	秦	服部 洋司	清音三因
渡邊 悦子	中原	河合 浩司	赤浜	若林 和正	新本
野瀬 健吾	秦	岡 昌平	中原	神崎 勝典	新本
別府 正之	新本	横田 泉	泉	永田 忠明	新本
茅原 勲	福井	羽原 愛子	久代	▽一般寄付	
前谷 学	長良	名木田俊己	秦	松永 健三	中央2丁目
		小西 誠		おかやまコープ備北エリア	中央6丁目

(令和7年9月21日~令和8年1月20日まで 敬称略)

令和七年度の被表彰者 (福祉部門)

◎厚生労働大臣表彰

(個人)

赤木伸子

(団体)

総社手話サークルでのひら

◎中央共同募金会会長表彰

土家美佐枝

◎全国社会福祉協議会会長表彰

(個人)

土家美佐枝

◎岡山県知事表彰

(個人)

福田博明

山下泰三

土家美佐枝

(団体)

おりひめ

吉備うさぎ会

昭和地区社会福祉協議会

総社フォークダンスクラブ

山田地区社会福祉協議会

久代地区社会福祉協議会

◎岡山県子ども・福祉部長表彰

(個人)

尾上俊太郎

三宅恵美

(団体)

あかいやね

さくらんぼ

総社点訳の会

◎岡山県老人クラブ

連合会会長表彰

堀義一

藤原博志

中川修一

◎岡山県手をつなぐ

育成会会長表彰

岩城則之

奥山峻輔

森川千恵

石原真理子

高杉恵美子

高杉実奈

高杉一江

難波聖子

西山豊子

延吉彦志

林哲郎

廣木聡

古川典子

牧野隆久

御厨淳子

森内美江

横田福世

(敬称略)



子ども食堂支援の一環としてご寄贈をいただきました！！



令和7年12月12日（金）、総社市役所 1階 チュッピーホールにて、「おかやまコープの子ども食堂応援」食品贈呈式が執り行われました。

昨年度に引き続き、おかやまコープ様から、お米やパスタ、お菓子などの食品と調味料のご寄贈をいただきました。また、式典後は、おかやまコープ様・子ども食堂代表者・市社協で、総社市内の子ども食堂の現状やご寄贈をいただいて子どもたちが喜んでいる様子などについて懇談をしました。子ども食堂の代表の方は、今後も子どもたちや地域住民の居場所として運営していきたいと話されていました！ご支援ありがとうございました！



あたたかいご支援を ありがとうございます。

高野山真言宗 寺族婦人会備中支部の皆さまより、令和7年10月30日（木）に食糧品や学用品のご寄贈をいただきました。

いただいた品々は、生活にお困りの方や子育て世帯の皆さま等への支援に役立ててまいります。

この度のあたたかいお気持ちに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

車椅子のご寄贈をいただきました！

令和7年度「ヤクルト愛の車いす寄贈事業」により、令和8年1月19日（月）、岡山ヤクルト販売株式会社様から車椅子1台をご寄贈いただきました。地域の皆さまが安心して暮らせるようにとの、あたたかな想いが込められています。心より感謝申し上げます。

いただいた車椅子は、地域福祉の向上のために大切に使用させていただきます。



vol.79（11月号）掲載内容の一部訂正について（お詫び）

次のとおり誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします

【掲載箇所】事業報告・決算（9ページ）

【内容】・令和6年度事業活動計算書 サービス活動外増減の部 特別収益計（8）（誤）空欄 ⇒（正）200,000
・貸借対照表 流動資産（誤）15,4114,101 ⇒（正）154,114,101

